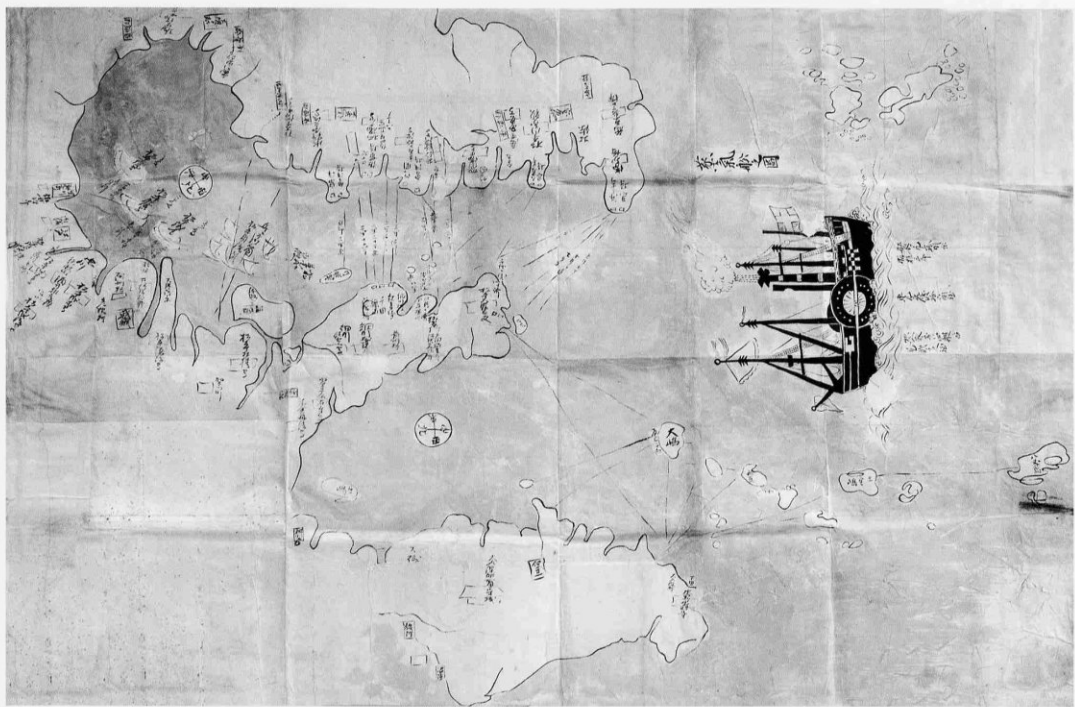


黒船の来航



この絵図（縦一〇三cm×横六六cm）は、幕末の外国船渡来に対する沿岸警備の様子を描いたものです。房総半島から伊豆にかけての地域が描かれています。外国船の襲来に備え、江戸湾（東京湾）を中心として諸国の大名が警護中で、絵図中にその名前が書かれています。当時、前橋（川越）藩九代藩主松平誠丸（典則）は、一番台場の警備にあたっており、その名がみられます。

【参考資料】『群馬県史』通史編4 六八九〜六九四頁